



第139回水道技術管理者協議会（2月25日 於：千代田区）

設定議題①大口径弁の維持管理、②大口径の耐震継手管布設工事に伴う入札条件、③負担金制度のあり方、④営業業務の委託状況について意見交換を行った。

また、報告事項として、①水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法の規格改正、②日本水道協会規格の制定・改正に伴う諸手続の変更、③水道事業における総合評価導入に関する手引き、④水道事業における業務委託の手引き（第一次案）などについて報告を行った。

第22回認証審査委員会（3月12日）

前回議事録の確認後、①認証業務実施状況 ②品質認証システム再開発の進捗状況 ③登録維持料の納入期限の前倒しの実施と納入状況について事務局より報告した。

続いて、①特別基準の検査方法「水道用ステンレス製ボール止水栓」の制定②平成19年度登録維持料未納による認証登録の取り消し等について審議し、質疑の後、原案のとおり承認された。

なお、会議に先立ち、前澤給装工業株式会社福島工場の視察を実施した。

第17回給水システムにおける水量管理に関する調査専門委員会（3月19日）

東京都水道局港南庁舎において新 JIS 規格対応メーター性能に関する試験装置の説明を受け、試験調査方法について審議を行った。

第22回認証制度運営委員会（3月18日）

前回議事録の確認後、①認証業務実施状況 ②平成19年度 第2回内部監査結果 ③第22回認証審査委員会審議結果 ④登録維持料の納入期限の前倒しの実施と納入状況 ⑤「水道用資機材の海外動向に関する調査検討会」の設置について事務局より報告した。

続いて、①認証登録情報の E-mail 配信について審議し、質疑の後、原案通り承認された。

平成19年度水道 GLP マネジメント・レビュー（3月18日）

日本水道協会は専務理事並びに関係者出席のもと、水道 GLP マネジメント・レビューを実施した。席上、専務理事から水道 GLP 認定審査4年目に入るのを機会に、より一層水道 GLP を充実させるよう指示があった。

第863回会誌編集委員会（3月18日）

本誌4月号、5月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱い並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

第220回衛生常設調査委員会（3月21日）

1. 報告事項

- 1) 最近の水道行政について、厚生労働省久保室長補佐から、全国水道関係担当者会議資料により、①水質検査法及び水質検査の信頼性確保、②水安全計画の策定の検討、③耐塩素性病原生物対策の推進、④貯水槽水道への指導等の推進、⑤鉛製給水管の適切な対策などについて説明があった。
- 2) 日本水道協会規格「水道用次亜塩素酸ナトリウム（JWWA K 120:2008）」について、平成20年1月11日付けで改正したことが報告された。

2. 審議事項

日本水道協会規格「水道用薬品の評価試験方法（JWWA Z 109:200x）」の改正を行うことが了承された。

第12回 ISO 審査登録センター・運営委員会（3月21日）

平成19年度の事業報告、審査登録事業の収支及び審査登録状況、マネジメント・レビュー及び平成20年度事業計画等について審議し、了承された。

第39回国際委員会（3月25日）

2012年 IWA 世界会議招致活動、第3回及び第4回 IWA ワークショップの結果についての報告が行われ、了承された。

続いて、2011年 IWA-ASPIRE 地域会議東京開催の準備、ISO / TC224のワーキンググループ活動、IWA ウィーン世界会議、平成20年度の国際活動についての審議が行われ、2011年 IWA-ASPIRE 地域会議の準備を進めること、ISO / TC224のワーキンググループ活動に日本の水道事業体の意見を反映すべく関与すること、IWA ウィーン世界会議への日本からの参加等、平成20年度に予定される国際活動について委員が中心となって積極関与することを決定した。



第75回検査事業委員会（3月25日）

報告事項(1)第74回検査事業委員会議事録、(2)「水道用資機材の海外動向に関する調査検討会」設置に伴う協力方、(3)各工業会の再検査に関する対応、(4)JIS 登録認証の審査業務状況について、事務局より逐次報告を行い異議なく了承された。

議題(1)水道用液状エポキシ樹脂塗料塗装方法検査施行要項の改正、(2)日本水道協会水道用品検査通則の改正、(3)検査工場の協力工場に関する取扱い要領の改正については、検査施行要項等専門委員会委員長の河本真治大阪市水道局工務部配水担当課長より説明を行い、慎重に審議を行い了承された。

次に、議題(4)受検証明書に関わる対応措置、(5)証明書発行方法変更に関する経過確認のための状況調査について、事務局より説明を行い、了承された。



水道施設耐震工法指針・解説改訂特別調査委員会／第2回総論専門委員会（3月25日）

本委員会では、現在、改訂作業を行っている「水道施設耐震工法指針・解説」の総論部分の改訂事項に関する審議等を行っている。

第2回委員会では、「厚生労働省令改正(案)」、「総論ワーキンググループにおける検討事項及び執筆内容」、「経済性照査による合理的な耐震設計の事例研究」等についてそれぞれ審議・報告を行った。



第25回水道 GLP 認定委員会（3月25日）

八戸圏域水道企業団の水道 GLP 認定について審議を行い、審議の結果、水道 GLP 認定が決定された。

また、北九州市水道局（認定番号：JWWA-GLP002）及び株式会社 環境科学研究所（認定番号：JWWA-GLP005）について、水道 GLP 認定検査機関としての認定維持が承認された。併せて、既認定検査機関のすべてについて、塩素酸に係わる拡大認定が承認された。

第159回工務常設調査委員会（3月26日）

水道用無溶剤形エポキシ樹脂塗料塗装方法（JWWA K 157）及び水道用ダクトイル鋳鉄管合成樹脂塗料（JWWA K 139）の規格改正、水道用黒ワニス（JWWA K 125）の規格廃

止、水道用ソフトシール仕切弁（JWWA B 120）の規格改正の検討について決定した。

また、水道施設耐震工法指針・解説の改訂のポイント、水道用資機材に係わる浸出試験（コンディショニング）、「水道施設の事故事例集（仮称）」の作成（中間報告）などについて報告を行い、それぞれ意見交換を行った。

第7回水道料金制度特別調査委員会（3月27日）

議案「水道料金特別調査委員会報告書（案）」について最終審議を行った。

成案を得た報告書及び水道料金算定要領（改定版）の公表については、印刷物を全正会員へ配布するとともに協会雑誌へ掲載することとした。



水道 GLP 認定証授与式（3月27日、4月8日）

水道 GLP 認定委員会で認定が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



3月27日財団法人鳥根県環境保健公社



3月27日岡山市水道局水質試験所



4月8日八戸圏域水道企業団水質管理室

平成19年度水道 GLP 運営委員会（3月28日）

日本水道協会は、平成19年度水道 GLP 運営委員会（委員長 眞柄泰基北海道大学特任教授）を開催し、水道 GLP 認定状況及びマネジメント・レビュー結果等について報告した。眞柄委員長から、水道 GLP は、水道事業体等検査機関の試験業務を評価しており、今後とも、水道 GLP を通して試験精度の維持・向上に努めてほしいとの意見を受けた。



第619回抄録委員会

本誌7月号に掲載する抄録の内容について審議した。

第43回 ISO 審査登録センター・判定委員会（4月14日）

スズキ鋳鉄工業株式会社の第3回サーベイランスについて審議し、品質マネジメントシステムが JIS Q 9001:2000/ISO 9001:2000規格要求事項に適合していると判定した。

平成20年度第1回水道週間中央行事実行委員会（4月14日）

本年6月1日（日）に開催される第30回水道週間中央行事「水道フェスタ in 柳都 Niigata」の実施企画、予算案について、開催地である新潟市より説明があった後、慎重審議の結果、原案の通り了承された。

また、厚生労働省からは、中央行事は一定の役割を果たしたとして、今後は記念行事という形で節目の年に開催することが提案され、了承された。

